



第8期のご報告

2018年4月1日～2019年3月31日

日新製糖株式会社

証券コード 2117

株主の皆様へ

こころとからだに栄養を

愛情と信頼のマーク 「カップ印」のお砂糖



当社グループは つねにご満足いただける
製品とサービスで
多くの方々に笑顔をお届けできる
「総合甘味サプライヤー」を
目指しております。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
業績のご報告	3
事業セグメント別の概況	3
対処すべき課題	5
中期経営計画	6
連結財務諸表	11
個別財務諸表	13
連結財務ハイライト	15
企業情報	16
株主還元について	17
株主メモ	裏表紙

株主の皆様には、平素より日新製糖グループへの格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの主力事業である砂糖事業につきましては、代替甘味料の増加、少子高齢化や嗜好の変化等による砂糖需要の漸減という厳しい経営環境におかれる中、付加価値向上への取り組みとともに、新たな事業領域への展開が求められる環境になっております。

こうした状況のもと、本年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、精製糖事業の経営品質・経営効率No.1、総合甘味サプライヤー戦略、M&A等による事業領域の拡大、健康産業事業における多店舗展開等、各分野における目標の達成に邁進してまいります。

また、これと並行し、現在、2021年3月期以降の経営計画を策定しております。「豊かで快適な生活の実現のため、『食』と『健康』で貢献する。」という使命のもと、変化する環境に対応できる力強いビジョンを描くよう、4月よりスタートした新経営体制において、徹底的に議論を進めてまいります。



さらに、成長を支える経営基盤の強化についても力を入れてまいります。社員が明るく、楽しく、真剣に働き、会社とともに成長する体制と風土作りを始めとして、業務効率化、リスク管理、CSR、IRの各分野において重点課題を設定し、推進してまいります。

今後も、企業価値の向上に努めるとともに、公正で透明性の高い事業運営を行い、すべてのステークホルダーの皆様の信頼とご期待にお応えすべく、グループ役職員一同全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 森田 裕



代表取締役会長
樋口 洋一

代表取締役社長
森田 裕

— 経営理念 —

豊かで快適な生活の実現のため、
『食』と『健康』で貢献する。

- 公正で透明性の高い経営を実践することにより、社会から信頼される企業を目指します。
- 会社の業績向上を図ることにより、社会に貢献するとともに、従業員・お客様・株主様などの信頼と期待にお応えします。
- 健康に資する安全な製品・サービスを安定的に提供することにより、お客様の満足と安心を実現します。

業績のご報告

当期におけるわが国の経済は、自然災害等の影響を受けたものの、企業収益や設備投資は全般に底堅く、個人消費は雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに持ち直していましたが、米中貿易摩擦の影響もあり、期末にかけて製造業を中心に景況感が悪化しました。

当期の業績は、売上高は48,755百万円(前期比0.1%減)、営業利益は3,167百万円(同53.3%増)、経常利益は3,410百万円(同32.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,336百万円(同24.6%増)となりました。

事業セグメント別の概況

砂糖その他食品事業

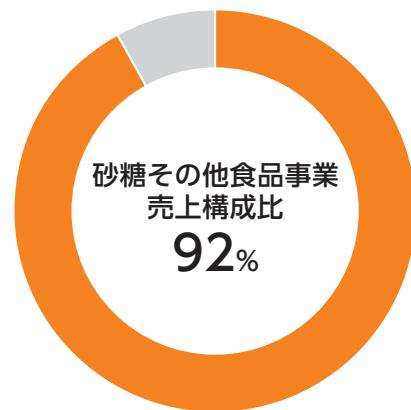
海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり12.33セントで始まり、インド・タイなど主要生産国の増産見通しによる世界砂糖需給の供給過剰感から、9月下旬に当期安値となる9.83セントまで下落しました。その後、最大砂糖輸出国ブラジルの通貨レアルの急伸や、原油価格の高騰などの影響から、10月下旬に当期高値となる14.24セントまで上昇しましたが、インド・タイの順調な生産状況等を背景に12.53セントまで値を戻して当期を終了しました。

また、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては、上白糖1kg当たり189~190円で始まりましたが、ニューヨーク市場粗糖先物相場の下落を受け、7月下旬には187~188円と2円下落し、そのまま当期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、家庭内調理の減少による家庭用製品の減少や、相次ぐ自然災害の影響により、全体の出荷量は前期を下回りましたが、当社独自製品の顆粒状で水に溶けやすい「フロスト[®]シュガー」や梅酒向け氷砂糖は好調に推移しました。その他食品につきましては、ツキオカフィルム製菓株式会社が通期で寄与したことにより増収となりました。

利益面では、エネルギーコストや物流コストの上昇があったものの、採算を重視した販売に努めたことに加え、前期に比べ退職給付費用やM&A関連費用が減少したことや、会計方針の変更による減価償却費の減少等から増益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上高は44,875百万円(前期比0.7%減)、セグメント利益は2,848百万円(同63.2%増)となりました。



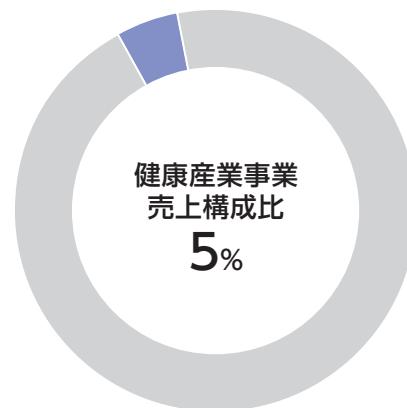
健康産業事業

健康産業事業におきましては、総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」と女性専用のホットヨガ＆コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」を展開しています。

当期においては、新たにBLEDA 2店舗を開業するとともに、総合フィットネスクラブ 2店舗および24時間営業コンパクトジム10店舗を展開する株式会社エヌエーシーシステムを連結子会社化し、事業基盤の拡大と顧客ニーズの多様化・専門化への対応を行っています。

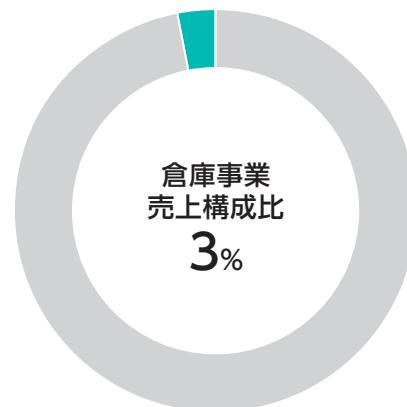
業績につきましては、新規出店費用の増加、株式会社エヌエーシーシステムの株式取得関連費用の発生に加え、総合フィットネスクラブ既存店が、近隣への競合店出店による影響を受けたことにより、売上高は2,361百万円(前期比2.3%増)となったものの、セグメント利益は16百万円(同84.1%減、当該取得関連費用控除前セグメント利益80百万円(同24.0%減))となりました。

なお、株式会社エヌエーシーシステムの業績につきましては、みなし取得日を2019年3月31日としているため、上記に含めていません。



倉庫事業

倉庫事業におきましては、冷蔵倉庫、普通倉庫ともに前期低調に推移した在庫水準が回復し、売上高は1,518百万円(前期比16.1%増)、セグメント利益は302百万円(同40.9%増)となりました。



対処すべき課題

当社を取り巻く経営環境につきましては、主力の砂糖その他食品事業において、少子高齢化に伴う人口減少や嗜好の変化等の要因から、国内砂糖消費の減少が続いております。2018年12月30日には「環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定」(TPP11協定)、2019年2月1日には日EU経済連携協定(EPA)が発効しました。競合商品である加糖調製品が現行の糖価調整制度の枠組みに組み入れられ、砂糖の調整金負担が軽減されたものの、加糖調製品に対する低関税輸入枠の設定など輸入量増大につながる制度も導入され、予断を許さない状況となっております。また、労働人口の減少に伴う人件費や物流費の高騰は、業績に重要な影響を与えております。

こうした状況のもと、2019年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、精製糖事業の経営品質・経営効率No.1、総合甘味サプライヤー戦略による商材の拡充と国内外における事業領域の拡大に向けた施策を実施しております。

精製糖事業においては、今福工場(大阪市城東区)において、製品品質の安全・安心の向上を目指したFSSC22000認証を全製品に拡大いたしました。2019年度は、同工場において、販売好調の「きび砂糖[®]」の需要増に対応した設備の竣工・稼働を目指してまいります。

2017年に当社子会社に加わったツキオカフィルム製菓株式会社につきましては、食用純金箔事業において、皇位継承に伴う全国的な祝賀ムードを背景として売上高を順調に伸ばしており、また、フィルム事業においても当社販売ルートの活用により、営業基盤が強化されております。今後も同社とのシナジー効果を追求し、経営基盤の強化に注力してまいります。

健康産業事業においては、総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」、ホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」の多店舗展開を行ってまいります。2019年2月には、主として東京都を中心に、総合フィットネスクラブ「NASスポーツクラブA-1」とジム特化型の24時間コンパクトジム「A-1 EXPRESS」を運営する株式会社エヌエーシーシステムが当社グループに加わり、同社とのシナジーの創出に注力し、収益基盤を拡大するとともに、多様化する顧客ニーズにお応えしてまいります。

倉庫事業においては、冷蔵倉庫・普通倉庫ともに在庫水準の回復により順調に業績を伸ばしておりますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックによる物流需要を取り込み、さらなる業績向上を目指してまいります。

これらの成長を支える経営基盤の強化についても力を入れ、社員が明るく、楽しく、真剣に働き、会社とともに成長する風土と体制作りを始めとして、業務効率化、リスク管理、CSR、IRの各分野において重点課題を設定し、推進してまいります。

また、これと並行し、現在、2021年3月期以降の中期経営計画を策定中であり、「豊かで快適な生活の実現のため、『食』と『健康』で貢献する。」という使命のもと、変化する環境に対応できる力強いビジョンを描いてまいります。

今後も、企業価値の向上に努めるとともに、公正で透明性の高い事業運営を行い、すべてのステークホルダーの皆さまの信頼とご期待にお応えしてまいります。

中期経営計画

〔中期経営計画の要旨〕

- ・精製糖事業の経営品質・経営効率No.1企業を目指します。
- ・当社グループの強みを活かして新たな事業・商材に挑戦し、「総合甘味サプライヤー」として拡大・成長を図ります。また、ツキオカフィルム製薬をはじめとする国内外における新たな事業展開を推進します。
- ・健康産業事業における、美容・アンチエイジング・リラクゼーションをキーコンセプトとして時代のニーズに合わせた多様な店舗展開を推進します。
- ・以上の取り組みを支えるため、ガバナンス体制の整備、成長に向けた人材育成、業務効率化等の経営基盤強化を推進します。

当社グループは、株主資本利益率(ROE)を持続的な企業価値増大に関わる中核的な指標と捉えており、以上の経営戦略により、2020年3月期ROE 5%、2025年3月期ROE 8%の達成を目指してまいります。

■ 2020年3月期（現 中期経営計画（5カ年）の最終年度）の位置づけ

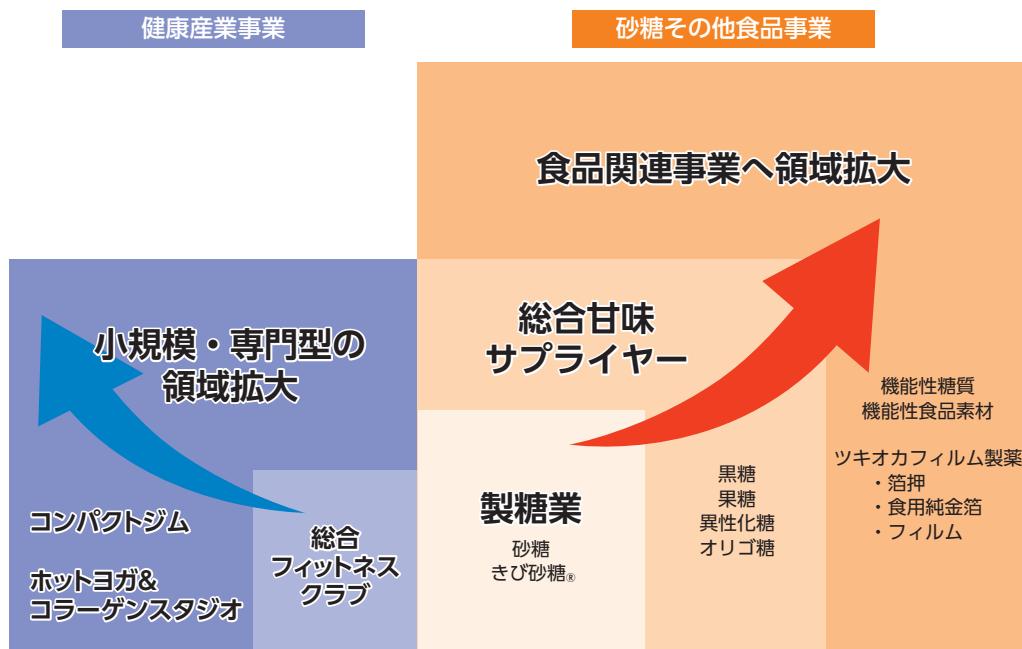
- 目標値である**ROE 5%**の達成を目指す

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期		2020年3月期 (予想)
	日本基準					IFRS
売上高 (百万円)	49,840	49,942	48,802	48,755	売上収益 (百万円)	48,000
営業利益 (百万円)	3,063	2,735	2,065	3,167	営業利益 (百万円)	3,200
経常利益 (百万円)	3,372	3,073	2,568	3,410		
親会社株主に 帰属する当期 純利益(百万円)	2,163	※ 2,554	1,874	2,336	親会社の所有者 に帰属する当期 利益(百万円)	2,500
ROE	4.4%	5.1%	3.7%	4.6%		5.0%

※ 特別利益としてスティックシュガー等の生産体制合理化・再構築に伴う八尾センター（大阪府八尾市）の固定資産売却益391百万円を計上

■ 事業領域拡大イメージ

伝統 2 事業の領域を連続的に拡大し、食と健康で貢献するミッションを持続的に実現する



● 2020年3月期の課題

砂糖その他食品事業

成熟市場において収益力を維持しながら、新たな市場へ事業領域を拡大する

- ◆ 需要減に拍車がかかるなか、生産性の向上と、採算重視の販売徹底や、高付加価値製品の販売推進によって、精製糖事業の収益力を維持
- ◆ 機能性糖質・ツキオカフィルム製薬の用途開発、M&Aなど、積極的な成長投資によって、非砂糖分野を更に強化

健康産業事業

競合の多い総合フィットネス市場で既存店の利益率を向上させながら、成長市場である小型・専門店に積極的に展開する

- ◆ 設備リニューアルやプログラム導入等により、集客力と定着率を向上
- ◆ 効果的販促や運営体制見直しによる、ブレダ新店舗の早期業績寄与
- ◆ エヌエーシーシステムの成長を促進し、小型・専門店舗の新規出店を加速

■ 精製糖事業の経営品質・経営効率No.1企業を目指す

- ・コスト競争力の強化
- ・安心安全の強化
- ・ブランド力・商品力・販売力の強化
- ・きび砂糖[®]やフロスト[®]シュガーなど、付加価値の高い独自製品の強化

2016年5月25日に公表した中期経営戦略に基づき、以下の施策を実行

2017年3月期

- 生産・物流設備更新による効率化
 - ◆ 千葉・大阪2拠点のスティックシュガー工場の集約、最新設備による合理化
 - ◆ 千葉物流センターの増床による物流費削減
- ハラル認証の取得
 - ◆ 大阪 今福工場生産品（冰糖除く）について認証を取得

2018年3月期

- CSR活動への取り組み
 - ◆ ライフスタイル提案、環境、責任調達など6つのCSR重点領域を選定

2019年3月期

- 大阪 今福工場 FSSC22000認証を全製品に適用拡大

● 付加価値の高い独自製品を強化

きび砂糖[®]

- ◆ さらなる需要増に対応するべく、2020年3月期 下期より今福工場での生産開始予定
- ◆ 家庭用市場縮小のなか、継続的に販売量が増加
- ◆ 有名和食料理店「贅否両論」店主 笠原将弘氏を起用した広報活動を展開
- ◆ 2018年「日経POSセレクション 売上No.1」に選出(サトウキビ糖分類)
さらに「平成を通じて分類内売り上げNo.1」として日本経済新聞で紹介



■ 総合甘味サプライヤー戦略

● ガラクトオリゴ糖(商品名: **カップオリゴ**)の拡販

- ◆ 家庭用甘味料市場向け「オリゴの王様。」と健康食品市場向け高機能性製品3品(当社ネットショップ限定商品)と業務用(健康を訴求する乳製品向けなど)の展開

■ カップオリゴ。の特徴

- 熱や酸に強いので腸に届きやすく、ビフィズス菌の増殖効果がある
- 難消化性で、カロリーは砂糖のほぼ半分
- 原料が乳糖であり、母乳にも含まれる安心で安全な素材

- ◆ 「カップオリゴ。(500g液体タイプ)」の**特定保健用食品表示許可**
- ◆ 海外市場への展開に向けた**米国GRAS認証取得**



■ 国内外における事業領域の拡大

● 食品関連分野の領域拡大

M&A・提携への積極的な取り組みを継続し、機能性食品素材などの食品関連分野に事業領域を拡大

● 機能性糖質の研究開発

2016年に沖縄ラボを開設し、新規素材の研究開発を推進

【新規素材の期待される用途】

- 抗う蝕性を利用したオーラルケア製品向け
- 難溶性の機能性素材の可溶性・安定化

● 海外事業の推進

タイ国製糖企業「カセタイ社」との戦略的パートナーシップを継続
砂糖需要の伸長する東南アジアを中心に、中長期的な事業推進

● ツキオカフィルム製菓の株式20%追加取得・完全子会社化

- ◆ 2017年10月31日に株式80%を取得
- ◆ 2018年12月21日に残り20%の株式を追加取得し、完全子会社化

2019年3月期の取り組み

■ 食用純金箔事業



- 食用純金箔製品は菓子向け用途が伸長

■ フィルム事業



- フィルム製品は、乗り物酔い止め伸長、大手食品会社の定番商品のノベルティに採用

健康産業（スポーツクラブ・ヨガスタジオ）

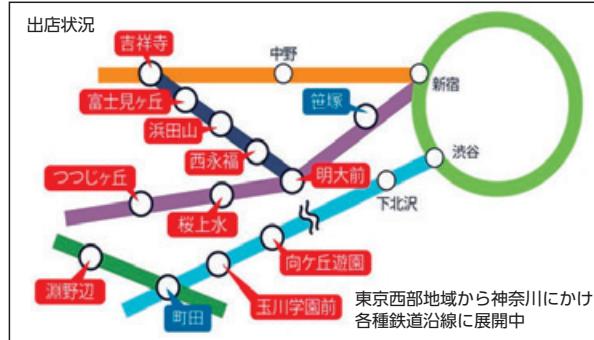
- 健康産業事業M&A エヌエーシーシステムの株式100%取得（子会社化）
 - ◆出店余地の少ない総合フィットネスクラブ2店舗増加による基盤強化
 - ◆24時間営業コンパクトジム10店舗（2019年6月3日現在）の運営へ進出
 - ◆2020年3月期より当社連結業績に寄与



総合フィットネスクラブ
笹塚店・町田店の2店舗
笹塚店は一部を24時間化



24時間トレーニングジム
東京以西を中心に展開し、
現在10店舗にまで拡大



●幅広い潜在利用者を意識して、事業多様化を継続

- ◆顧客ニーズの多様化に対応して、小規模・専門型の新業態に対応
 - 2019年3月期 ジム特化型新業態「DO SMART」野田店 開業
- ◆美容に興味のある女性をターゲットにした展開
 - 2019年3月期 ホットヨガ&コラーゲンスタジオ「ブレダ」新前橋店・野田店の2店舗 開業

総合フィットネスクラブ



「ドゥ・スポーツプラザ」5店舗
「NAスポーツクラブA-1」2店舗



小規模・専門型
新業態



「DO SMART」1店舗
「A-1 EXPRESS」10店舗



「ブレダ」6店舗

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	25,803	24,231
現金及び預金	10,900	11,134
受取手形及び売掛金	4,955	4,754
有価証券	3,600	2,599
商品及び製品	3,353	3,209
仕掛品	496	566
原材料及び貯蔵品	2,196	1,640
その他	302	325
貸倒引当金	△1	△0
固定資産	36,421	35,507
有形固定資産	15,692	15,079
建物及び構築物	4,005	3,758
機械装置及び運搬具	2,278	1,923
土地	8,606	8,606
その他	801	790
無形固定資産	2,004	1,471
のれん	1,867	1,338
その他	137	133
投資その他の資産	18,723	18,956
投資有価証券	16,493	16,848
繰延税金資産	725	768
退職給付に係る資産	451	466
その他	1,133	953
貸倒引当金	△80	△80
資産合計	62,224	59,738

科 目	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	8,182	6,253
支払手形及び買掛金	3,676	2,382
短期借入金	1,300	1,300
未払法人税等	844	208
賞与引当金	353	305
その他	2,008	2,057
固定負債	2,854	2,655
繰延税金負債	730	769
役員退職慰労引当金	198	171
退職給付に係る負債	137	123
資産除去債務	266	52
再評価に係る繰延税金負債	1,077	1,077
その他	442	460
負債合計	11,036	8,908
(純資産の部)		
株主資本	48,008	47,488
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	11,821	12,020
利益剰余金	29,486	28,766
自己株式	△299	△298
その他の包括利益累計額	3,179	3,341
その他有価証券評価差額金	896	990
繰延ヘッジ損益	2	1
土地再評価差額金	2,191	2,191
退職給付に係る調整累計額	89	157
純資産合計	51,188	50,830
負債純資産合計	62,224	59,738

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり純資産額 2,318円42銭



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2018年4月 1日から 2019年3月31日まで)	前 期 (2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)
売上高	48,755	48,802
売上原価	37,959	39,348
売上総利益	10,796	9,454
販売費及び一般管理費	7,629	7,388
営業利益	3,167	2,065
営業外収益	286	541
受取利息	2	3
受取配当金	111	263
持分法による投資利益	134	241
その他	37	32
営業外費用	43	38
支払利息	26	17
支払手数料	13	13
その他	2	7
経常利益	3,410	2,568
特別利益	99	2
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	3	—
関係会社株式売却益	94	—
特別損失	56	58
固定資産除却損	50	49
固定資産売却損	—	2
投資有価証券売却損	5	—
その他	—	6
税金等調整前当期純利益	3,452	2,511
法人税、住民税及び事業税	1,040	636
法人税等調整額	75	0
当期純利益	2,336	1,874
親会社株主に帰属する当期純利益	2,336	1,874

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益 105円80銭

連結株主資本等変動計算書

当期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	7,000	12,020	28,766	△298	47,488	990	1	2,191	157	3,341	50,830
当期変動額											
剰余金の配当			△1,567		△1,567						△1,567
親会社株主に帰属する当期純利益			2,336		2,336						2,336
自己株式の取得				△1	△1						△1
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△199			△199						△199
持分法の適用範囲の変動			△48		△48						△48
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						△93	0	—	△68	△161	△161
当期変動額合計	—	△199	720	△1	519	△93	0	—	△68	△161	358
当期末残高	7,000	11,821	29,486	△299	48,008	896	2	2,191	89	3,179	51,188

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2018年4月 1日から 2019年3月31日まで)	前 期 (2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,250	3,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,620	△1,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,864	△2,979
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,233	△1,217
現金及び現金同等物の期首残高	9,704	10,921
現金及び現金同等物の期末残高	8,470	9,704

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当期から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	24,632	23,213
現金及び預金	10,394	10,582
売掛金	4,274	4,166
有価証券	3,600	2,599
商品及び製品	3,356	3,212
仕掛品	462	539
原材料及び貯蔵品	2,021	1,476
前払費用	80	81
関係会社短期貸付金	358	403
その他	85	151
固定資産	35,592	34,530
有形固定資産	11,956	11,715
建物	2,412	2,356
構築物	140	156
機械及び装置	1,430	1,094
車両運搬具	17	7
工具器具備品	108	81
土地	7,491	7,491
リース資産	93	113
建設仮勘定	261	414
無形固定資産	119	125
ソフトウェア	94	108
その他	25	17
投資その他の資産	23,515	22,688
投資有価証券	4,741	4,525
関係会社株式	15,947	15,191
関係会社長期貸付金	2,187	2,427
前払年金費用	322	239
その他	397	385
貸倒引当金	△80	△80
資産合計	60,224	57,743

科 目	当 期 (2019年3月31日現在)	前 期 (2018年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	7,418	5,651
買掛金	3,528	2,342
短期借入金	1,521	1,468
リース債務	14	17
未払金	182	280
未払費用	842	816
未払法人税等	741	177
賞与引当金	273	247
その他	314	300
固定負債	2,211	2,068
リース債務	58	70
繰延税金負債	650	638
役員退職慰労引当金	172	150
資産除去債務	202	50
再評価に係る繰延税金負債	1,077	1,077
その他	50	80
負債合計	9,630	7,720
(純資産の部)		
株主資本	47,497	46,863
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	24,318	24,318
資本準備金	1,750	1,750
その他資本剰余金	22,568	22,568
利益剰余金	16,479	15,843
その他利益剰余金	16,479	15,843
繰越利益剰余金	16,479	15,843
自己株式	△299	△298
評価・換算差額等	3,096	3,160
その他有価証券評価差額金	902	967
繰延ヘッジ損益	2	1
土地再評価差額金	2,191	2,191
純資産合計	50,593	50,023
負債純資産合計	60,224	57,743

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり純資産額 2,291円50銭



損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(2018年4月 1日から 2019年3月31日まで)	(2017年4月 1日から 2018年3月31日まで)
売上高	43,446	44,888
売上原価	33,952	36,237
売上総利益	9,494	8,651
販売費及び一般管理費	6,694	6,870
営業利益	2,799	1,780
営業外収益	234	706
受取利息	27	14
受取配当金	186	667
その他	21	25
営業外費用	26	30
支払利息	11	11
支払手数料	13	13
その他	0	4
経常利益	3,007	2,456
特別利益	179	—
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	3	—
関係会社株式売却益	175	—
特別損失	37	51
固定資産除却損	37	45
その他	—	6
税引前当期純利益	3,149	2,405
法人税、住民税及び事業税	910	565
法人税等調整額	35	11
当期純利益	2,203	1,827

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益 99円80銭

「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当期から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

株主資本等変動計算書

当期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

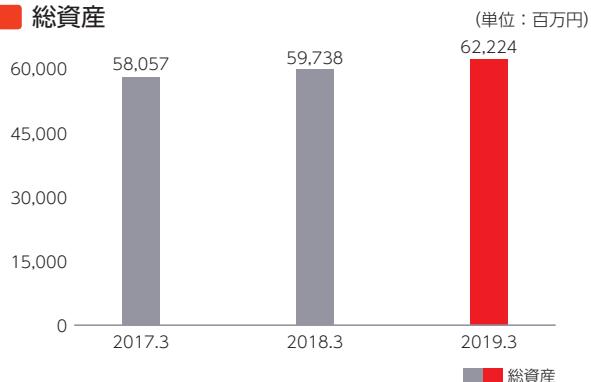
(単位：百万円)

	株主資本						評価・換算差額等					純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金							
当期首残高	7,000	1,750	22,568	24,318	15,843	△298	46,863	967	1	2,191	3,160	50,023
当期変動額												
剰余金の配当					△1,567		△1,567					△1,567
当期純利益					2,203		2,203					2,203
自己株式の取得						△1	△1					△1
株主資本以外の項目の 当期中の変動額 (純額)								△64	0	—	△64	△64
当期変動額合計	—	—	—	—	635	△1	634	△64	0	—	△64	570
当期末残高	7,000	1,750	22,568	24,318	16,479	△299	47,497	902	2	2,191	3,096	50,593

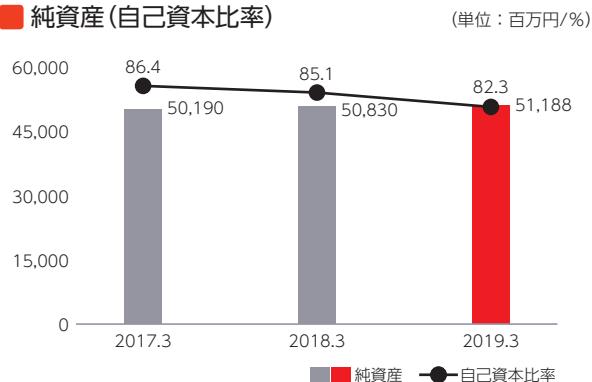
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務ハイライト

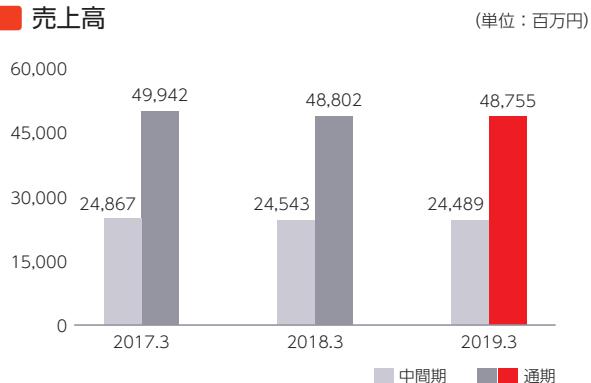
総資産



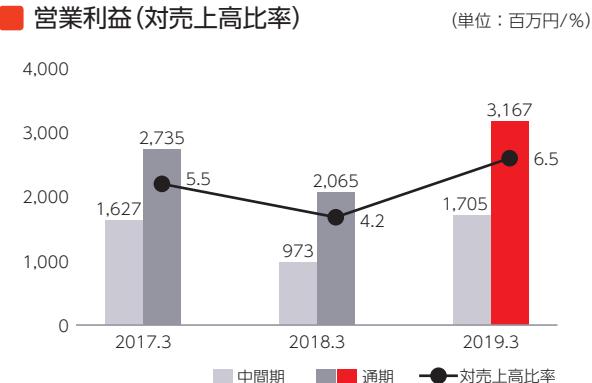
純資産 (自己資本比率)



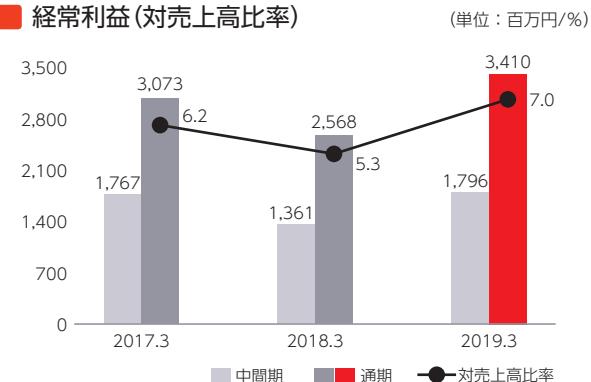
売上高



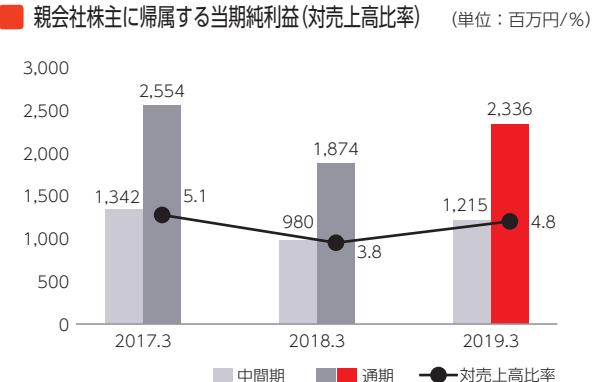
営業利益 (対売上高比率)



経常利益 (対売上高比率)



親会社株主に帰属する当期純利益 (対売上高比率)



会社概要

商号	日新製糖株式会社 (Nissin Sugar Co., Ltd.)		
本店所在地	東京都中央区日本橋小網町14番1号		
設立	2011年10月3日		
資本金	70億円		
事業内容	砂糖その他食品の製造販売		
役員	代表取締役会長	樋口洋一	
(2019年6月26日現在)	代表取締役社長執行役員社長	森田裕	
	取締役専務執行役員	大久保亮	
	取締役	飯塚佳都子	
	取締役	池原元宏	
	取締役	小西正人	
	常勤監査役	川口多津雄	
	監査役	延増拓郎	
	監査役	和田正夫	
	専務執行役員	森永剛司	
	常務執行役員	高野義二	
	常務執行役員	飯塚裕之	
	執行役員	砂坂静則	
	執行役員	柴田弥治	
	執行役員	佐々木洋治	
	執行役員	山口康雄	
	執行役員	中村泰之	
	執行役員	飯倉聡	
	執行役員	三枝恵	

(注) 取締役飯塚佳都子氏、取締役池原元宏氏および取締役小西正人氏は社外取締役、また監査役延増拓郎氏および監査役和田正夫氏は社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数 90,000,000株
 発行済株式の総数 22,673,883株 (自己株式594,935株を含む)
 株主数 10,339名

大株主

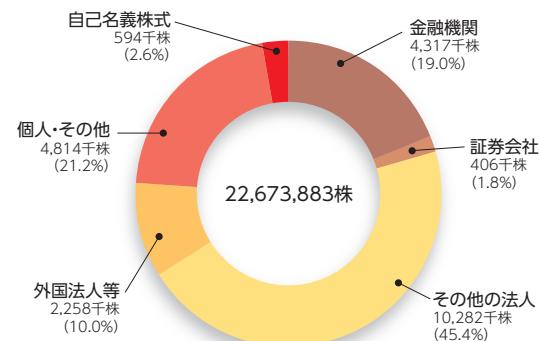
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	8,296	37.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,282	5.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,201	5.4
株式会社三井住友銀行	739	3.3
三井住友信託銀行株式会社	600	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	463	2.1
ブルドックソース株式会社	399	1.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	315	1.4
むさし証券株式会社	306	1.4
平野 孝憲	293	1.3

- (注) 1. 当社は、自己株式を594,935株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 3. 2018年10月5日付で、シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社より当社株式に係る大量保有報告書(変更報告書)が関東財務局長に提出されており、当該大量保有報告書(変更報告書)において、2018年9月28日現在で当社が1,984,600株(8.75%)を保有している旨が記載されておりますが、当社として当事業年度末日における実質保有株式数の確認が出来ていないため、上記大株主には含めておりません。

グループ会社

会社名	主要な事業内容
子会社	
新豊食品株式会社	砂糖等の加工および包装
ツキオカフィルム製菓株式会社	箔押事業・食用純金箔事業 およびフィルム事業
株式会社ドゥ・スポーツプラザ	総合フィットネスクラブの運営
株式会社エヌエーシステム	総合フィットネスクラブの運営
ニューポート産業株式会社	冷蔵倉庫・港湾運送業
他	他
関連会社	
新東日本製糖株式会社	精製糖等の製造
新光糖業株式会社	国産分蜜糖の製造、販売
新中糖産業株式会社	不動産賃貸業
他	他

所有者別株式分布状況



株主還元について

2019年3月期の期末配当金について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に株主資本利益率(ROE)向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。利益分配につきましては、連結配当性向(DPR)60%、または連結株主資本配当率(DOE)3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。2019年3月期の期末配当につきましては、上記配当方針を本決算数値に適用し算定した金額(1円未満切上げ)※から、実施済みの1株当たり中間配当額36円を差し引いて算定した結果、1株当たり34円を期末配当額とさせていただきます。

※〔1株当たり年間配当額の算定式〕

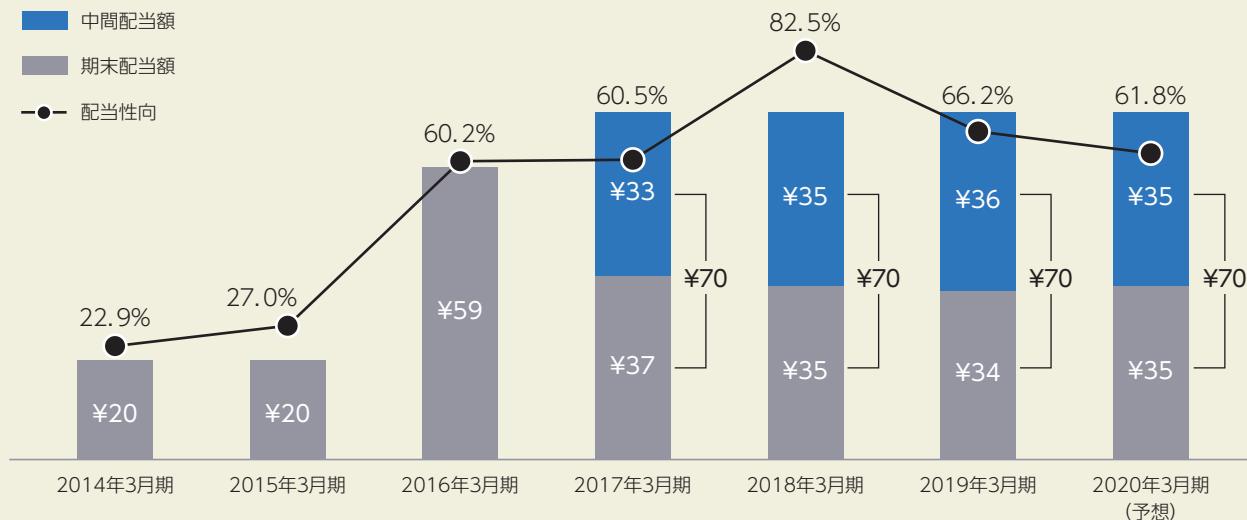
連結配当性向(DPR)60%基準

期末1株当たり連結当期純利益 105.80円の60% = **64円**(1円未満切上げ)

連結株主資本配当率(DOE)3%基準

期末1株当たり連結自己資本2,318.42円の3% = **70円**(1円未満切上げ)

連結株主資本配当率(DOE)3%基準70円の方が大きいため、**70円**を1株当たり年間配当額といたします。



○2016年3月期より配当性向60%または株主資本配当率2%の高い金額と設定

○2018年3月期より株主資本配当率2%から3%に上方修正

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援を感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主の皆様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上の株式を保有されている株主様

株主優待制度の内容

保有期間	3年未満	3年以上
優待内容	1,000円相当の自社製品	2,000円相当の自社製品

※保有期間について

- (注) 1. 「保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在において、当社の株主名簿に同一株主番号で3年以上継続して記載または記録されている株主様(同一の株主番号で100株以上を、3月31日現在、9月30日現在の株主名簿に、7回以上継続して記載または記録されている株主様)といたします。
2. 相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その期末の基準日(3月31日)から起算いたします。



2019年3月期の株主優待品(予定)
※上段3品が1,000円相当、2,000円相当は上段3品に下段4品を追加。

贈呈時期

6月の定時株主総会開催後、7月上旬にかけての発送を予定しております。

7月中旬を過ぎてもお受け取りになられていない株主様は下記あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

日新製糖株式会社 株主優待事務局

(フリーダイヤル) **0120-558-420**

受付時間 平日9:00-17:00(土日祝日を除く)

受付期間 2019年7月1日(月)から8月30日(金)まで ※以降は03-3668-1246(日新製糖総務部)

株主優待制度の詳細につきましては当社ホームページIR情報「株主の皆さまへ」をご覧ください。

近日発売

おなかの調子を整える、 トクホのガラクトオリゴ糖シロップです。



特定保健用食品

カップオリゴ®

シロップタイプ 500g

高純度のガラクトオリゴ糖液糖の原液をそのままボトルに詰めました。熱や酸に強いガラクトオリゴ糖を配合した液体タイプのオリゴ糖です。ヨーグルト、お飲み物、毎日のお料理など幅広くお使いいただけます。
ピタッ!と止まる液ダレ防止ボトル。

許可表示：腸内のビフィズス菌を適正に増やすガラクトオリゴ糖を配合し、おなかの調子を良好に保つよう工夫された食品です。

カップオリゴ® 特設サイト

cupoligo

検索

<https://cupoligo.jp/>

今すぐアクセス➡





肉詰めゴーヤーの照り焼き

材料 (2人分)

ゴーヤー…………… 1本 (300g)
 かたくり粉…………… 大さじ1
 油…………… 大さじ1/2
 酒…………… 大さじ1

A

豚ひき肉…………… 200g
 長ねぎ (みじん切り) …… 大さじ2
 酒…………… 大さじ1/2
 きび砂糖[®]…………… 小さじ1
 しょうが汁…………… 小さじ1
 しょうゆ…………… 小さじ1

〈照り焼きのタレ〉

きび砂糖[®]…………… 大さじ2
 しょうゆ…………… 大さじ1・1/2
 みりん…………… 大さじ1
 酒…………… 大さじ1/2

■ 調理時間：約25分

■ カロリー：1人あたり368kcal

作り方

- 1 ゴーヤーは1.5cm厚さの輪切りにし、スプーンなどで種とわたをとる。内側にかたくり粉をまぶす。
- 2 ボールにAを合わせて、粘りが出るまでよく混ぜる。
- 3 2をゴーヤーの個数分に分けて丸め、ゴーヤーに詰める。(残った肉だねは上にのせる。)
- 4 〈照り焼きのタレ〉は合わせる。
- 5 フライパンに油を温め、3を中火で焼く。焼き色がついたら裏返し、酒をふり、ふたをして4～5分蒸し焼きにする。
- 6 フライパンに出た油をキッチンペーパーでふきとり、4を加えて煮からめる。

ポイント!

- 照り焼きの甘辛煮とゴーヤーの苦味がよく合います。
- ゴーヤーの種とわたはスプーンなどでこそげ取るようにしてしっかり取り除きましょう。内側にかたくり粉をまぶすことで、焼いた時に詰めた肉が外れにくくなります。



きび砂糖[®]の特長

大自然の恵みをいっばいに浴びて育ったさとうきびの風味が活きた、まろやかな甘さのきび砂糖[®]。今までのお砂糖にはなかった独特のコクのあるおいしさが味わえます。

内容量：750g / 希望小売価格：410円 (税込) お求めはスーパー、小売店等にて。

この商品は公式ネットショップでご購入いただけます Sweet Cup Mom Market



ホームページのご案内

カップシェフ[®]がさまざまなおいしいレシピを紹介しております。ぜひご覧ください。

日新製糖レシピ

検索

心と体の健康に・・・ 私たちの新しいコミュニティ



ドゥ・スポーツプラザ

ドゥで始める運動習慣
新しい自分に・・・

豊洲店／南砂町店／上里店／羽生店／高崎店



BLEDA
HOTYOGA & COLLAGEN STUDIO

女性専用

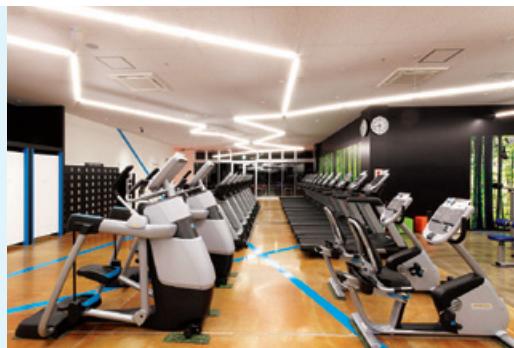
ココロとカラダの健康をめざす、
皆様のフィットネスライフをサポートします

ブレダ南砂町／ブレダ上里／ブレダ伊奈／ブレダ浦和
美園／ブレダ新前橋／ブレダ野田

DO SMART
Training gym

皆様の カラダづくりかた改革を
お手伝いします

野田店



各店舗についての詳細はホームページをご覧ください。 **アドレスはこちら ▶▶▶ <http://www.dspnet.co.jp>**

ドゥ・スポーツプラザ、ブレダ、ドゥ・スマートは日新製糖株式会社のグループ会社である株式会社ドゥ・スポーツプラザが運営しております。
株式会社ドゥ・スポーツプラザ 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL 03-3668-1182



日新製糖グループのCSR

私たちは、CSR経営の推進は経営品質の向上に繋がると考えています。

以下の6つのCSR重点領域を追求することにより、

「公正で透明性の高い経営」「事業を通じたステークホルダーへの貢献」「お客様への満足と安心の提供」の3つの価値観に基づく経営理念の実践に全力を尽くしてまいります。



1. 食と健康を通じた楽しいライフスタイルの提案



2. 環境に配慮した事業プロセスの追求



3. 責任ある原材料調達の実現



4. 安心・安全で高品質な製品・サービスの提供



5. 多様な人々が活躍できる職場環境の推進



6. 地域社会との共生

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル) (平日9:00-17:00) (ホームページ) https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関するお手続きおよびご照会について】

住所等の変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受領方法・振込先の変更、その他のお手続きおよびご照会は、下記の各該当先をお願いいたします。

証券会社等の口座に記録された株式…口座のある証券会社等
特別口座に記録された株式……………三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【特別口座および口座振替について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様の所有株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された「特別口座」に記録されています。
特別口座では、単元株の売買ができないなどお取引に一定の制限があります。円滑なお取引を行うためにも、特別口座から証券会社等に開設された株主様の口座に株式を振替えること(＝口座振替)をおすすめします。
お手続きの詳細につきましては、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

【未払配当金のお支払について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

【株式移転にともなう端数処分代金について】

旧 日新製糖株式会社と新光製糖株式会社が当社設立を目的に実施した株式移転(2011年10月)にともない、両社の株主様に対して当社の株式を割り当て交付いたしました。そのうち、1株未満の端数が生じた株主様につきましては、端数処分代金をお支払いいたしました(2011年11月に端数処分代金領収証をお送りしております。)
お手続きの詳細につきましては、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

表紙 松成 真理子(イラストレーター・絵本作家)

子供の本を中心に幅広い分野で活躍している。「まいごのどんぐり」(童心社)で児童文芸新人賞受賞。その他絵本に『せいちゃん』(ひさかたチャイルド)、『じいじのさくら山』(白泉社)、『たなばたまつり』(講談社)、『雨二モマケズ』(あすなる書房)など多数。



日新製糖株式会社

〒103-8536 東京都中央区日本橋小網町14-1
☎ 03-3668-1246(総務部)
ホームページアドレス <https://www.nissin-sugar.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。